



三木高大 自治会新聞

平成 28 年 7 月号 (No. 124)

発行 三木市高齢者大学学生自治会
発行責任者 自治会会長 金丸 正
編集者 自治会新聞編集委員会
発行日 平成 28 年 7 月 21 日
<http://koureisuyadaigaku.cccp.jp>

6月の教養講座から

地域におけるボランティア活動について

講師：三木市社協 ボランティア活動プラザみき
所長 稲見 秀行 様

講演の冒頭に、「ここで学んだ講座を社会で生かしてこそ意味がある事を、最初にはっきりさせておきたい」との発言があった。

ボランティアの歴史と語源：17世紀失業者のあふれる荒れたイギリス社会で町を守る必要から発生した「自警団」がボランティアの最初。

日本では、当初社会の為のボランティアが主流だった。最近では、自分の為になってきている。結果、自治会活動とボランティア活動が分離していく傾向にある。

「これからの地域づくりとボランティア活動」について、地縁組織（自治体、子ども会、PTA など）と、志縁組織（ボランティア、市民活動団体など）が、地域の課題を共有し、それぞれの役割を確認し合いながら、課題解決に向けた取り組みを進めていくことが大切、それらを協議する場が市民協議会（まちづくり協議会）であるとの提示があった。

三木市高齢者大学はそもそも、地域づくり活動を推進するための指導者及び協力者の養成を図ることにより、高齢者の福祉の増進と明るい地域社会づくりに資することを目的としている事から考えると、教養講座には、「地域づくり活動」をメインとした講座を充実させる必要があるのではないのでしょうか。



4年3班 宮下 尚也

意見発表会のお知らせ

と き：7月28日（木）午前 10 時から
と ころ：まなびの郷みずほ 体育館

4月に始まった1学期の講座も、7月21日をもって終了しました。例年この時期には意見発表会を開催しています。今年も第25回を迎え、来る7月28日（木）午前10時から12時まで、まなびの郷みずほ体育館で開催します。

今年の発表者は、次の8名の皆さんです。（敬称略）

- 【1年】1班 青木 芳子、2班 一宮 章二
- 【2年】2班 野間久美子、3班 長尾 恵猛
- 【3年】2班 藤村 末雄、5班 小阪 信之
- 【4年】1班 立石 勲、5班 矢島ハツ子

一人5分程度ですが、「学びと生きがい」をテーマに皆さんの長い人生において体験してきたことや学んできたこと、生きがいなどを発表して頂きます。発表される皆さんは、「どんなことを発表しようかな。みんなの前だとドキドキするだろうな。早く終わってほしいね」などと原稿づくりに一生懸命です。今年もきっとすばらしい発表会になるでしょう。

なお、今年も、この中から代表1名が東・北播磨学ば高齢者のつどい（10月14日（金）三木市文化会館で開催）の高齢者主張大会に出場することになっています。

教務主任 井上 達夫



学年通信（1年生）

高齢者大学に入学して、多くの決めるべき事項があることに戸惑い、たびたび混乱(?)を来した。そんな中、学年の愛称が「IKIN28」(生き生き仲間28)と決まった。「いきいきとした表情、感覚、体力をいつまでも持った仲間」の意味を含めたものである。この愛称を入れたユニホームはすぐにグラウンドゴルフ大会で披露された。まだお互いに顔も名前もよくわからない状況の中での競技であったが、青いユニホームは仲間のしるし、励まし合ったり褒め合ったりで、和気藹々とプレーが出来た。

そして、1週間後には春季研修旅行が実施された。天満天神繁昌亭では、軽妙な語り口での落語、小咄に皆で笑いこけた後、バスにて石切神社へと移動した。昼食後、参道へ向った。急な坂道に汗を流しながら、参道とは逆方向であるとも知らず、黙々と登っていたというハプニングもあったが、帰路のバス内では、疲れも忘れてピンゴゲームで盛り上がった。

これら2つの行事は、私たち同級生の距離を一気に縮めてくれた。しかし、学内行事だけではなく、私たち自身で早く親睦行事を行い、さらに仲間意識を高められたら、と思う。春季清掃活動の終了後、皆でささやかな茶話会を開き、今後の親睦活動について意見を出し合った。先輩の方々にもいろいろ教えていただき、活動していきたい。



1年1班 幸岡 義信

専門講座だより

園芸学科（野菜講座）



新学期が始まり、先生も森永先生から小田先生に替わられました。

私は、昨年に引き続き園芸学科を受講しています。野菜作りは、毎年同じ事の繰り返しかと思っておりましたが、先生も替われ自然環境も違い、自分では同じようにしたつもりでも、同じように育たない同じ年はないのだと更ながら気付かされました。



自然農法（草も引かず肥もやらずほったらかし?）、化学肥料や農薬を使わない有機（オーガニック）野菜の作り方、堆肥、病害虫防除、土地の選び方など…野菜本来の旨みや栄養を育む農法。その他、家庭菜園向きの品種やコンテナ栽培など、また、この時期にはこの野菜…など知らない事ばかりです。



この先、3年間は園芸学科で勉強していくつもりです。今は三段木製大型スタンドを2台作り、地面に杭を打ちつけています。そのひな段のコンテナにキュウリ、トマト、ナス、スイカ等20種類の野菜を作っています。よく育ちます。



卒業までには、機会があればオープンガーデンや先生の農場も見学させ頂きたいです。

園芸学科で学び、美味しい野菜を作ってみませんか。

2年1組 井上 正之

自治会からの報告

広報委員会総会の結果報告

去る6月4日(土)午前9時からまなびの郷みずほの研修室2において、委員20名が出席のもとに、広報委員会を開催しました。

新聞編集委員会、ホームページ作成・運営委員会、パワーポイント作成委員会の各分科会担当者から、それぞれ現状が報告され、活発な意見が交わされました。

新聞編集委員会からは「執筆者には原稿のほか記事に関する写真の提供と、原稿依頼の窓口となる各学年副会長等から、執筆者が誰かを事前に教えてほしい」等の要望があり、ホームページ作成・運営委員会からも「写真提供等の依頼と存続に関わる問題の指摘として、パソコンクラブに技能の優れた人材が入部してほしい」旨の要請がありました。パワーポイントの作成については、3年生から2年生への引き継ぎ方法について連絡、調整が図られました。

この他、広報活動に関連して、「みっきい情報ミュージアム」への登録・情報発信について審議しました。自治会として登録は行わないこととしましたが、効果的な情報発信のために、三木市の公式ホームページの下段に高大のバナーを掲載して、容易にリンクできるようにすることに賛同がありました。詳しくは、自治会の掲示板に議事録を掲示していますのでご確認ください。

まなびの郷みずほ交流キャンプの案内

まなびの郷みずほ活用連絡会主催のまなびの郷みずほ交流キャンプは、細川地域の自然豊かな環境のもと、子供達の相互理解、自主性、協調性、主体性などの育成を基本とし、生きる力を野外活動と集団生活で養い、将来的な人間形成を養う目的で今年も下記の通り開催されます。

日 程 平成28年8月9日(火)から10日(水)1泊2日
*小学3年生以下は、8月9日(火)日帰り参加

場 所 まなびの郷みずほ

参加者 細川町・吉川町の小学生及び中学生約60名を予定

主催者から、自治会執行役員を初め、写真、グラウンドゴルフ、大道芸、クック、水墨画の5クラブにボランティアの要請がありました。関係者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

交流グラウンドゴルフ大会の中止

6月25日(土)に開催予定であった「地域交流グラウンドゴルフ大会」は、グラウンドのコンディション不良により中止となりました。

自治会会長 金丸 正

春季清掃活動の結果報告

恒例の春季清掃活動が6月17日(金)学友会、大学院のご協力を頂き、総勢170数名の方々のご参加を得て、無事、終了しました。

日頃、登校日に講義を受け、登校日以外はクラブ活動に行き、学内の備品等を自由に活用している中、私自身、清掃活動を通じて「物を大切に使う」という心を芽生えさせる機会にもなったと感じながら、清掃活動を終えることが出来ました。ご協力有り難うございました。



担当役員 3年1班 荻野 喜平

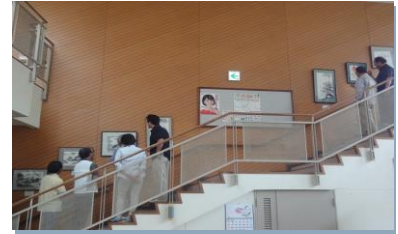
ク ラ ブ 紹 介

水墨画クラブ

現在、クラブ員数は在校生 15 名・OB12 名の合計 27 名が活動しています。

水墨画は「墨は5彩を兼ねる」といわれ、墨の濃淡と表現の変化が微妙な味わいがあるとされています。一方、顔彩を取り入れる墨彩画も描いています。

「百聞は一見に如かず」と言われます。幸いにして昨年度から、「はばたきの丘」や「中兵庫信用金庫三木支店」で作品展示の機会が増えました。その上、6月15日より本学内のロビー横階段に「水墨画」の展示が出来る事となりました。



初回はOB2名・大学院生1名・4年生2名・3年生1名の作品「水墨画6点・墨彩画1点」を展示しておりますので、身近に水墨画を感じて頂ければ幸いです。

次回は1年生・2年生の作品を含め、且つ色紙も展示します。是非ご鑑賞ください。

1班(1, 2, 3年生)・2班(4年生、OB)編成で、講師2人の指導を受けています。新入部員は、基本練習を1ヶ月行ない、独自の画題に取り組み、その後1班の画題に加わります。

教室は第2研修室で、毎週水曜日の午前10時から12時です。直近の練習日は、7月27日、8月3日、17日、24日、31日です。

夏休み期間を利用して水墨画クラブを見学し、1日体験そして入部されては如何でしょうか、決して遅くはありません。部員一同、心からお待ちしております。

水墨画クラブ部長 3年3班 戸田 寛

ターゲットバードゴルフクラブ

「ターゲットバードゴルフ」とは、どんなスポーツでしょうか?かか言う私も高大に入学するまで、聞いた事も、見た事もない、未知のスポーツでしたが『バード』の心地よい響きに引かれ入部しました。いざ体験すると狭い幅のコース内に羽根を飛ばすことや、空中に開いた傘状の籠に羽根を入れる事の難しさがありました。ゴルフとは違った難しさを感じる一方、楽しさも実感する事ができました。



体験して特筆すべきは、プレー環境の素晴らしさがあります。三木ホースランドパーク内ミオの森にあるコースは多くの木々に囲まれ、小川が流れる抜群のロケーションの中に18ホールあります。そのコースをパー58でまわります。

春には美しい花々を横目に、初夏には新緑のなか木漏れ日を浴びながら、秋には紅葉した木々でのプレーは、日頃のストレスも吹っ飛びます。

現在65名(現役17名、OB48名)の部員が、毎週月曜日の朝2時間ほどプレーを楽しんでいます。その成果を年間数回開催される競技大会で、思う存分発揮しています。

ゴルフ経験者も、全くの初めての方も、素晴らしい自然の中でプレーを一緒に楽しみませんか!! 皆様の新規入部をお待ちしています。

ターゲットバードゴルフクラブ部長 3年2班 荻田 俊一